

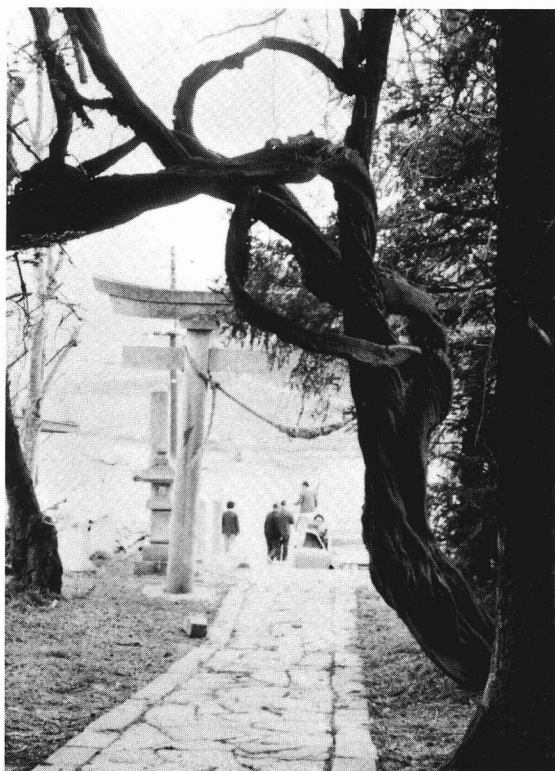
明治15年の絵画共進会には、川俣から石川君嶺、村山翠圃も出品し入選を果している。人々はこの三人を川俣における「明治の三画人」と呼んだ。

## 羽田 春日神社の大フジ

〔所在地〕 川俣町羽田字宮前

▷町指定天然記念物

羽田春日神社の参道左側にあるこのフジは、スギ、エノキ、カシ等の枝に大小三本の藤の枝がまとわりつき、曲折上下しつつ上昇している。初夏になり石の鳥居を覆うように花房が垂れるのは美観である。最大の幹は周囲1.6mで根本に朽損があり樹勢にやや衰えがみえる。明治12年撰の羽田村誌（信達二郡村誌）に「老藤と榎樹相調繆す」とあり、明治の初め既に老藤として有名なものであった。



羽田、春日神社の大フジ

## 秋山の駒ザクラ

〔所在地〕 川俣町秋山字小長石

▷町指定天然記念物

東南に面した傾斜地にあるエドヒガンザクラに属する巨木で、周辺が畑に囲まれた草地にある。根本には石塔類がみられる。樹高約19m、目通り径5.4m、根廻り5.1mで町内ではまれ